



茨城ワイズメンズクラブ  
2021年度-2022年度  
4月報 Vo 1.164

強調月間テーマ

LT

# THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI CHARTERED 2006



国際会長主題.....「世界とともにワイズメン」  
アジア太平洋地域会長主題.....「100年を越えて変革しよう」  
東日本区理事主題....「私たちは次の世代のために何が出来るか？」  
関東東部部長方針「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」  
茨城ワイズ会長主題.....「もう一度みんなで集う場所をつくろう」

## <4月例会プログラム>

と き:2022年4月8日(金)  
19:00~21:00(予定)  
と ころ:筑波学園教会教育会館1F  
zoomによるオンライン開催

司 会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:「いざ立て心熱くし」  
(オンライン時はスキップ)

ワイズ信条:

(オンライン時はスキップ)

- 1、自分を愛するように  
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1、世界的視野をもって  
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさとろう
- 1、会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・祈祷:熊谷 光彦

メッセージ:村田あつしの自己紹介  
ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:和田 賢一

閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

## ★巻頭言★「茨城ワイズメンズクラブへの思い」

茨城YMCA主事 大澤 篤人(あっとん)

この度、日本YMCA同盟への出向を命じられ、茨城ワイズメンズクラブの連絡主事の任を解かれることとなりました。記憶はあいまいでしたので確認してみると茨城クラブには2018年よりお世話になっておりました。例会中の宮田総主事の発言を受けた片山ワイズが「では大澤さんにもワイズの役割を担ってもらおうということですね」とおっしゃったことが、連絡主事となる直接のきっかけになったと私は思っています。あれから4年も経ったのかと驚いています。

リーダーの頃からなので、茨城ワイズと私は、クラブ創立の頃からかかわりがありました。初期の活動に参加したり、様々な方のお話を聞けたり、おいしいご飯が食べられたり、バザーでワイズメンと触れ合う時間も楽しみでした。連絡主事を拝命してからも、月一回のワイズは楽しみな時間でした。そんな私から、現在茨城ワイズへ抱いている思いをいくつか、挙げさせていただきます。

- ・独自プログラム:クラブ創立の頃から、独自プログラムを考え続けてこれたと思います。私が知っているだけでも様々な提案、意見、企画がありました。私も連絡主事として、少しでも貢献したいと思いながらも、なかなか思うようにいかず、申し訳ないことと思っています。With コロナで何が出来るのか、これからも考え続けていきます。
- ・茨城YMCAの職員やボランティアリーダーのかかわり:私は

## ☆今月の聖句☆

27:いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。28:人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。

マタイによる福音書 20章 27~28節

なぜか、リーダーの頃からよく例会にお邪魔していました。職員になってからも、基本的には参加するつもりでいました。ですが、現在の職員やボランティアリーダーを見渡しても、積極的にかかわろうとしてくれる人はあまりいません。例会に参加し、かかわろうとしてくれる人が増えるように、考えていきます。

- ・新クラブ設立：昨年議論の末、設立は見送られましたが、考えるよい機会となりました。様々な意見をお持ちの方がおられますが、ワイズ運動をどのように広げていくのかを考えるにあたって、重要な視点です。私はYMCAでの働きを通して“いつかは…”や“そのうち…”が決して遠い未来ではないことを実感してきましたので、考え続けていきたいと思っています。それが1年後でも10年後でも、結果として叶わなくても、検討や調査、挑戦、提案などは、ワイズの運動の一環として行う価値のあることだと思っています。

私は、神の導きという他に説明のできない、複雑な経緯でYMCAとかかわり続けています。今後どのようなことがあろうと、YMCAとのかかわりが無くなることはありません。ワイズの信条でもある、「YMCAに尽くす」ことは、私の信条でもあります。茨城クラブの皆様が、今この時もワイズメンとしてYMCAに尽くしてくださっていることに、心から感謝するとともに、尊敬の念を抱きます。私も様々な立場で、YMCAに尽くし、皆様とも親密なかかわりを続けていきたいと願っています。

出向から帰ってくるのは2024年、茨城YMCA30周年の年です。その時には、茨城クラブもYMCAも、皆様も私も、今よりきっとよくなっていることと思います。その時を心から楽しみにしております。今まで4年間、ありがとうございました。

### 【3月例会報告】

3月例会は、4日（金）にzoomにてリモート開催いたしました。ワイズメンバーが6名、Web上に集い、活発な意見交換、議論をすることができました。以下に協議内容を示します。



- ・関東東部役員選出について：

茨城クラブから、柳瀬ワイズに部の役職を担っていただき、他のクラブメンバーで彼女をサポートしていくことにて合意。

- ・ここ2年の茨城クラブの活動を振り返って、またこれからの活動について：

zoomを活用してコミュニケーションの質を落とさず、リアルでもやれる限りのことは進められた。一方で、メンバーどうしの活動がオンライン中心になると、メンバーの新規勧誘は難しくなる。対面での例会が可能になるまで、会員増強は難しいのではないか、という意見も・・・。

→時季をみてサイクリングをテコにした会員勧誘や、経営者ネットワーク、近隣教会からの勧誘を再開予定、改めてメンバーごとにアイデア出しを実施。

→5年後や10年後の茨城ワイズの姿を想定し、あり得る姿にどう近づけていくか、各人が考えてみる。持続可能な活動を続けていくために、なにに重点を置いていくべきか（会員増強なのか？それとも現行メンバーでの活動の充実か、新クラブ設立についてはいかに進めていくべきか）。

- ・その他：

独立行政法人福祉医療機構(WAM)からの助成金受領について。

みどりの本館で3/12(土)に実施予定のバザーについて。

#### 3月例会（リモート開催）出席状況

会員：5名（稲本、大澤、片山、熊谷、村田、柳瀬）、スタッフ：0名、リーダー：0名、ゲスト：0名、出席総数：5名、在籍者会員数：9名、会員出席率：67%

（書記 村田）



## 【事務報告】

### 会計報告 (3月4日～3月31日)

前月繰越金..... ¥25,815-  
次月へ繰越..... ¥25,815-

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き会費の前納に、ご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)

### 退会者、再入会者のお知らせ

3月末をもちまして、以下のお2人から退会の届出がありました。

石橋さん:本人からのお申し出、一身上の都合により(高齢となりイベント参加等が難しくなったため)。長年茨城 YMCA の会計顧問を担っていただいておりますが、このたび退会となりました。

大澤さん:連絡主事退任のため。巻頭言にもありますように、4月から同盟に出向されます。

4月より、以下の方の再入会の届出がありました。

和田賢一さん:連絡主事就任のため。

(書記 村田)

## 【茨城 YMCA 報告】

### 3月の報告

- 1日 学童部会  
相談支援ミーティング
- 2日 中期計画小委員会
- 4日 主任会  
東新井主任会
- 5日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」  
みどりの学童新入生オリエンテーション
- 6日 ユースアクションプレゼン
- 7日 早天祈祷会  
フットサル体験会 (みどりの・牛久)
- 8日 国際部会 mtg
- 9日 中期計画委員会  
学童研修会
- 12日 牛久学童新入生オリエンテーション
- 14日 職員礼拝/職員会
- 16日 学童研修会
- 18日 幼保園卒園式
- 19日 幼児教育部門スタッフ研修  
入職式
- 23日 新入園児1日入園
- 26日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいく

ラブ」

27日-28日

春のオーバーナイトキャンプ

30日 中高生デイキャンプクラブ「ユースクラブ」

31日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」

他 ピンクシャツディを3月に各事業で実施

### 4月の予定

1日 学童新入生歓迎会

2日 入園式つくばオーリーブ・幼保園

4日 学生ボランティア研修会

11日 早天祈祷会

-5日 スプリングスクール終了

17日 かすみがうらマラソン給水ボランティア

18日 主任会

24日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」

26日 職員礼拝職員会

30日 障がい児者自立支援「たんぼぼクラブ」  
(連絡主事 和田)

## 【編集後記】

あっという間に桜が咲いて、散っていきました。大澤さんが4年間の連絡主事のお務めを終えられ、茨城 YMCA からいったん離れることになりました。

あのときこうしておけばよかった・・・と後から思うことが増える日々です。だからこそ、やりたいことは先延ばしせず、思い付いた時にすぐ実行してしまうことの大切さを思います。

4月、世の中は年度始めで新しい風が吹き始めました。気分一新、また歩き始めていきたいと思えます。

(書記 村田)

「今月は日付が41日まであるカレンダーが欲しい」と願った年度末が終わり、積み残しの荷物に埋もれながら新年度を迎えました。

目覚めた朝、今日一日の命の心配をしなくてもベッドから起き上がることのできる今この瞬間を神に感謝しなくては・・・。

(会長 熊谷)